

1

新しい田原市給食センター 平成26年4月から給食開始予定です

新給食センターに関するお問い合わせ

▼教育総務課 ☎23局35300 ☒k-pfi@city.tahara.aichi.jp

太 平洋を見渡せる絶好の位置にある旧成章高校赤羽根校舎。

そのグラウンドとテニスコートに、新しい給食センターをPFI方式で建設します。給食の供給開始は、平成26年4月の予定です。市内50施設（小学校27校、保育園21園、私立幼稚園2園）の子どもたちに、安全・安心で温かく、美味しく栄養バランスの良い給食を提供していきます。

多彩な給食・開かれた施設

新しい給食センターでは、「炊きたてご飯」や「バイキング給食」など多彩な給食の提供のほか、食育の推進や環境学習にも積極的に取り組んでいきます。また、「子どもたちの食べている給食を知りたい」という保護者の方が、実際に調理の様子を見学したり、試食したりできるような施設を目指しています。

新給食センターの概要

●構造・面積

鉄骨造2階建て
延床面積等5113.02㎡

●契約者

（株）田原学校給食サービス

構成企業7社

●スケジュール

平成24年1月～ 設計開始
平成25年1月～ 建設開始
平成26年2～3月 開業準備
平成26年4月～ 運営開始

※【PFI】国や自治体が、公共施設の建設・管理・運営の全部や一部を民間に委ねる手法

新給食センターQ&A

Q どのような施設になりますか？

A 新しい給食センターの特長は次のとおりです。

◆「炊きたてご飯」や「バイキング給食」など多彩な給食を提供

◆今まで以上に衛生環境や労働環境に配慮

◆全国最大の完全オール電化システムを採用

◆独立したアレルギー対応食調理室を整備

◆子どもや保護者、市民が見学できる回廊式見学通路を整備

◆給食センターとして日本最大級の太陽光発電（50kW/h）や風力発電（1kW/h）を整備

Q 民間業者の調理では不安ですが…

A 「献立」と「食材調達」は今までどおり市が行います。運営開始後は、モニタリング（事業監視）を行い、常に安全・安心でおいしい給食を提供します。

Q 市内すべての小中学校や保育園に給食を提供するのですか？

A 現在給食センターから給食を提供している施設と、自校・自園で調理している施設すべてに提供します。また、子育て支援の観点から、市内の私立幼稚園にも、市立保育園同様の給食サービスを行います。



▲環境に配慮し再生可能エネルギーを導入



▲完成予想図。見学可能な明るい施設に